



延喜式内名神大社

生島足島神社便り

ごあいさつ	2
例祭・第十一回神賑祭が祭行される	4
祇園祭・夏越の祓「茅の輪くぐり」	5
いままでの祭事・行事	6
いままでの祭事・行事	7
これからの中な祭事・行事／編集後記	8

Vol.41



9月19日午前、例祭(秋季祭)が斎行され、午後2時から歌舞伎舞台にて第11回神賑祭が開催されました。真田陣太鼓、御諏訪太鼓の迫力ある演奏が境内に響き渡りました。

ごあいさつ

猛暑日や突然のゲリラ豪雨が続いた夏も過ぎ、過ごしやすい秋の季節となりました。新年度から早やハ力用。いままでの経過を宮司さんと総代長さんに語ってもらいました。

ごあいさつ

宮司 武藤 美登

平成甲午年も早神無月の中旬を迎えた秋も酣の候、氏子各位には益々御多幸の段大慶に存じ上げます。

御蔭を以て初春以来、事もなく喪もなく有らしめ神明に御奉仕できたことを、厚く御礼申し上げます。

今は、七五三詣での児等で賑わいを見せております。やがては、御移神事から御籠祭、新穀感謝祭へと続き、御祭神の御加護と御神徳に感謝と祈りを捧げ四季折々の祭が執り行なわれてまいります。さて、斎館が新築され、報恩殿の解体も無事に終わりました。境内の様子が大きく変わり、境内地がより広く感じられます。今後、更なる整備が進められ、より厳しく麗しく、そして御参拝の氏子崇敬者にとって出入りの宜しい美し宮になつて行くものと存じます。

来年、三月十四日に北陸新幹線が金沢まで開業されます。四月から五月にかけて、七年に一度の善光寺御開帳と戸隠神社式年大祭が行われます。

翌平成二十八丙申年には、生島足島神社式年御柱大祭が斎行されます。

この、平成丙申年のNHK大河ドラマで戦国武将真田幸村の生涯を描く「真田丸」の放送が決定しました。

生島足島神社文書九十四通には、武田信玄が必勝を祈った「願文」や家臣団に忠誠を誓わせた「起請文」とともに、真田昌幸・信幸父子の「朱印状」が所蔵され、また撰社諏訪神社は、信幸の寄進により再建されました。当社は、武田家はもとより真田家ゆかりの神社としての崇敬も集めております。

秋冷の候、氏子崇敬者の皆様には御清祥のことと心よりお慶びを申し上げます。平素は神社の発展と御神徳の高揚の為に温かい御支援と御協力を賜り心より敬意と感謝を申し上げます。神社便りの発行に当たり一言ごあいさつを申し上げます。

昨年十月に皇大神宮、豊受大神宮において遷御の儀が厳粛の裡に執り行われました。国民の広い崇敬と奉贊の誠により斎行され、搖るぎなき我が国の伝統・文化が永く子孫へ伝えられることを慶びとするものであります。神宮式年遷宮の斎行を通して内外に発信された伝統を重んじて自然を尊び神々や祖先と共に生きるという敬神崇祖の精神は国民挙げての神宮崇敬の真心には

向寒の砌、氏子各位の御多幸と御健康をお祈り申し上げ、御挨拶と致します。

ごあいさつ

総代長 依田 延嘉

秋冷の候、氏子崇敬者の皆様には御清祥のことと心よりお慶びを申し上げます。平素は神社の発展と御神徳の高揚の為に温かい御支援と御協力を賜り心より敬意と感謝を申し上げます。神社便りの発行に当たり一言ごあいさつを申し上げます。

さらに来年度は御柱大祭準備の年と成ります氏子、崇敬者の皆様方の絶大なる御支援、御協力を賜り神社の尊厳護持、御社頭隆昌のため御高配を賜り益々の御健康と御多幸をお祈り申し上げ御挨拶と致します。



4月19日 斎館新築に関わる
報道陣からのインタビュー

じまるものでその心の継承に努力し祭祀の厳修と神社振興に努めてまいりたいと思います。又年末には神宮大麻の頒布に氏子の皆様に御協力を賜りたいと考えております。

さてここで報恩殿について御報告を申し上げますが八月二十九日より取りこわしの工事が始まつており九月末にはすべて取りこわしが終了する予定ですが取りこわした後にテナントハウスを造り現在生島足島神社写真室として七五三などの貸衣装、結婚式の衣装の取り扱いをしております「夢うさぎ」さんに貸す事としており十一月中には完成の予定で工事を進めており完成、移転が終了しました。皆さんにも御協力を御願い申し上げます。そば処「生島の杜」はこのまま残す事と成りテナントハウスの残地は駐車場として整備し参拝者御不便のない様にしたいと思います。



例祭・第十一回神賑祭 が祭行される

九月十九日、県神社庁から神社本庁
献幣使が参向され、総代や崇敬者ら参
列のもと、御本社で例祭が厳粛に斎行
されました。

午後二時からは境内の歌舞伎舞台を
ステージに神賑祭が開催されました。

神賑祭は大地と太陽に生きる喜びと
感謝の気持ちを表す祭典として第十一
回目を迎えました。

今回は2016年NHK大河ドラマ
「戦国武将真田幸村の生涯を描く『真
田丸』放送決定！」に伴い、真田陣太鼓、
御諏訪太鼓の迫力ある演奏が境内に響
き渡りました。



第11回神賑祭が午後2時から、
武藤宮司、依田総代長の
あいさつで開演されました。

第一部

真田陣太鼓

「出陣」「上田原の合戦」「佐助」「真田丸」の
4曲を9名の方々で演奏されました。



第二部

御諏訪太鼓

岡谷から来られた奏者5名の
皆さんによる迫力ある演奏が
境内に響きわたりました。

祇園祭



七月二十七日（日）生島足島神社祇園祭が盛大に斎行されました。
晴天に恵まれた午前八時から子供みこし安全清祓式の後、子安社の前で小学生成までの子供たちが学年別に記念写真。続いて舞い込みの練習をしました。

午前九時、二手に分かれ子供みこしが出発しました。その後、天候が急変し雨が降り出し、小学六年生女子の舞手五名が社務所前で足止めとなりました。子供みこしの人たちもビショ濡れとなつて戻つてきました。

雨も上がり、十一時十五分から「浦安の舞」を神楽殿で厳かに奉納しました。下之郷三頭獅子舞は午後二時半に神楽殿において奉納されました。大人神輿は午後四時からの出発に変更されてから今年で二回目。

大勢の方々が揃つて
楽しんで頂けました。

御本社（上社）と▶
摂社（下社）に
獅子舞い2回奉納

▼午後2時半から神楽殿で
三頭獅子舞奉納



突然の雨降りの為▶
社務所で足止め



◀「浦安の舞」を
神楽殿で奉納

▼午後4時から大人神輿が練り歩く



公民館広場での▶
大人神輿



六月二十日夕刻、突然降り出した雨も上がり、「夏越の祓」茅の輪くぐりの神事が執り行われました。
半年間の罪やけがれを祓い清める儀式で家族連れをはじめ約150人が参集。形代（かたしろ）と呼ばれる人形（ひとかた）に罪やけがれを移し祓いの後、参列者は暑さ厳しい夏を乗り切るため、古式にのつり茅の輪を左、右、左と8の字に三回くぐり、夜七時半ころの終了となりました。

夏越の祓 「茅の輪くぐり」

今までの祭事・行事

今までの祭事・行事



報恩殿の取こわし前



報恩殿神棚降し打毀し清祓い式



神社関係者業者の玉串拝礼



屋根瓦の撤去が行われる



報恩殿の取こわしが始まる

八月	八月	八月
八月一日	八月一日	八月一日
八月月次祭	八月月次祭	八月月次祭
四日	四日	四日
役員研修旅行	若一王子神社・仁科神明宮（大町市）	若一王子神社・仁科神明宮（大町市）



若一王子神社鳥居前

若一王子神社
三重の塔

仁科神明宮拝殿



仁科神明宮本殿

九月	九月	九月
九月一日	九月一日	九月一日
九月月次祭	九月月次祭	九月月次祭
九日	九日	九日
第五十回全国神社総代会大会	第五十回全国神社総代会大会	第五十回全国神社総代会大会

※ 旧敬老の日
九月十九日（御本社例祭）
他にも、東信各地域の高校・小中学校・保育園・幼稚園の生徒・児童の皆さんが必要祈願・遠足等で参拝に訪れました。



八幡社例祭

東塩田保育園
も参列

